

# 三勲小だより

令和元年9月3日(火)



## < 2学期始業式の話 >

おはようございます。元気な皆さんに会えて校長先生はとてもうれしく思います。

さて、1学期の終業式では、チャンス、チャレンジ、チェンジの三つのCのお話をしました。きっと夏休みにはいろんなチャンスを生かして初めてのことや、やりたいなと思っていたことにチャレンジ(挑戦)して自分を変えていく(チェンジする)ことができたことだと思います。

さて、この薔薇を見てください。(造花)これは「本物」の薔薇でしょうか。そうですね。これは「本物」の薔薇ではありません。でもお水をあげなくても枯れないで、いつまでもきれいに咲いているので、校長室にずっと飾っています。

校長先生は、今「本物」という言葉を使いました。では、人間で言うと「本物」ってどういうことでしょうか。今日は校長先生が見つけた「本物」を二つ紹介します。

一つ目は4世代ふれあいフェスティバルの時のことです。校長先生は、地域の人と一緒に焼き鳥を焼いていました。小学生の人もたくさん来ていました。校長先生はいつもはこちらからみんなに声をかけますが、その時は一生懸命でそんな暇がないくらいでした。そんな校長先生の所に来て「校長先生、こんにちは。」と自分からきちんとあいさつした人が何人もいましたね。あいさつした人は校長先生に声をかけられていないし、あいさつしなさいと誰かに言われたのでもないのに、自分で考えて「こんにちは」とあいさつをしたのです。これこそまさに「本当にあいさつができる人」「本物」だと校長先生は思いました。

二つ目は、勉強についてです。校長先生はよく授業中に教室を回って皆さんの勉強の様子を見ています。どの学年の人もとてもよく勉強していますが、特に6年生の人の勉強の態度、集中して一生懸命に考えている姿にはいつも感心しています。どの学年も、今学校で勉強していることは、将来、役に立つことばかりです。毎日の勉強を嫌だと思ったり人に言われてしたりするのではなく、自分で納得いくまで真剣に考えたり話したり書いたりしてみましょう。そうすれば、「本物」の力が身につくについて、将来自分がやりたい仕事に就けたりいろいろなことが分かったりするようになるのです。

「本物」には「見せかけではなく正しい姿」という意味もあります。このように、しなくてはならないことを当たり前のようにする姿こそ「本物」の姿です。そしてそれを続けているとしなくては行けないという気持ちになってきます。

礼儀正しくすること、一生懸命に勉強すること、働くこと、きまりを守ること、人に優しくすること・・・皆さんが2学期に頑張りたいことはどんなことですか。頑張りたいことを決めたら自分から進んでみましょう。そして、長く続けてみましょう。そうすれば、それが当たり前ようになり、自分のものになってきます。それこそが「本物」の姿です。2学期にはこんな「本物」の姿を生活の中でも勉強でもたくさん見せてほしいと思っています。これで校長先生のお話を終わります。

長い夏休みが終わりました。きっと親子で充実した毎日を過ごされたことだと思います。学校では、子どもたちの体調に気をつけながら、少しずつ学校生活のリズムが取り戻せるようにしていきます。ご家庭でも、一日が元気にスタートできるよう、夜は早く寝て、朝すっきりと目を覚まし、朝ご飯を食べて、8時25分までには登校できますようよろしくお祈りします。